

年齢構成がいびつになることなど、マイナスとなる事態が生じかねないことから、早期退職制度を活用しながら、可能な限り早い時点で新規採用ができるよう検討していきたい。

(2)①現在、調査内容や環境保全のための措置などを記載した環境影響評価準備書が作成中の段階である。今後の予定として、準備書が作成され次第、準備書の公告・縦覧、環境影響評価書の作成、また地元漁協等の調整や、埋立て工事の許可等の手続きを経て、順調にいけば平成21年度以降に工事着工見込である。なお工事期間は概ね6年程度とされている。

②道路新設となれば、多額の事業費が必要となる。現在の財政状況からすれば、困難であると言わざるを得ないが、中長期的に関心を持って取り組んでいきたい。

企画部長 地元の方のご意見を伺いながらJR長崎とも協議を行った。建設は可能ということだが、財政的に現段階では困難である。協議は継続して行いたい。踏切の移設については、負担割合等についてJR等に確認をしたい。

(その他の質問事項)

・野岳町の温泉施設建設計画について
 ・北部運動広場について



空港大橋入口から見た海上自衛隊大村航空基地

都市計画道路の早期実現、水資源の恒久的な対策を！

中瀬議員

(1)都市計画道路について

50年近く前に計画された竹松空港線は竹松の線路から上の地区と富の原地区を結ぶ大動脈であり、子ども達の通学路でもある。国道を跨ぐには隣接の二つの交差点を通る必要があり、そのため裏通りである原口交差点から坂元プロパンへ抜ける道が幹線道になってしまっている。雨の日は傘を半分畳まなければ車の側を通り抜けることはできない。また計画線上の住民には建物が建てられず、長年迷惑を

かけたまま。限られた予算の中であっても重点配分で一日も早い完成をお願いしたい。

(2)水資源対策

恒久的な対策が必要。緊急的には国道が佐賀県鹿島市へ通じた利点を生かし、隣接の鹿島市の中木庭ダムより分けて貰うことを、早急に検討すべき。そのためには県境を越えた日頃の密接な交流理解が必要。水源涵養林のさらなる整備拡大、天然のダムである、特に山間地の水田の見直し活用が必要。

市長

(1)地権者の方には大変な不自由をおかけしている。都市計画道路の見直しを行うべく今年度から着手しており、現在、県と共同で作業中である。竹松駅前空港線についてもこの見直し作業の中で対応していく。作業実施にあたり、パブリックコメントを実施し、市民の皆様からご意見をいただいているところである。

今後は、この意見を参考にし、県の都市計画道路見直しガイドライン等をもとに道路交通調査等を行い、各路線ごとに必要性和実現性の観点から地域社会の影響などの視点で評価表をつくり廃止するのか、また変更や存続について決めていきたい。決定に当たっては、真に必要な道路を残すことが前提であり、

三城城跡について 市長の政治姿勢について

恒石議員

(1)三城城跡について

今までの議会で市長、教育委員会の担当者が発言では、18年度の終わりが19年度の当初には国の指定が認定されているはずが指定の申請もされていないのはどうしてか。指定の申請をして国の指定が認められたら3億5千万円の90%が国と県から補助金として大村市に支払われる。現状、大村市の財政的に苦しい時に申請していいのはおかしい

地域住民の皆様の考えに十分配慮して決めていきたい。最終的に存続や変更となった道路については、今後の財政状況等勘案しながら優先順位をつけていきたい。
 (2)鹿島市とは、新幹線問題等もあるが、過去において長い間スポーツ等を通じて交流を進めており、今後も大事にしていきたい。緊急的な水資源対策として、県とともに協議をして可能性を探りたい。
 (その他の質問事項)
 ・地場産業育成
 ・バス路線他